

やさしさと めくもりと ほほえみと

苑だより 第42号

社会福祉法人
和寒町社会福祉協議会
和寒町特別養護老人ホーム

芳 生 苑

発行責任者：施設長 田中美貴
製作編集：広報委員会
令和元年12月15日



敬老会

9月14日、第43回芳生苑敬老会を開催いたしました。今年は大樹6名、満百歳1名、白寿1名、米寿5名、計13名の方々がお祝いを受けられ、町長からお祝い金目録と、家族会会長から記念品がご利用者様一人ひとりに贈呈されました。

白色、黄色の年祝いの色のちゃんちゃんこを着て、ご長寿をご家族と参加者、皆で祝いました。

また、式典の後はボランティアの皆さんや職員によるアトラクションが行われ、歌や踊りで楽しいひと時を過ごしました。

また、敬老会に先立ち、家族会の役員会と総会を開催致しました。平成30年度事業と収支決算、令和元年度事業計画等について、報告を行っております。

全職員が共に育っていく事ができる環境作りを整えると共に専門的知識や技術を習得向上できる目的で外部研修にも積極的に参加し、意識統一を図るよう内部研修も実施している内容を報告させていただきました。



おめでとうございます!





今年もハロウィンの仮装をした子供さんたちが芳生苑に来てくれました。
ご利用者さんからお菓子を受け取り、喜んでいました。その姿をみてご利用者さんも笑顔があふれておりました。

保育所慰問



10月27日、和寒保育所の児童が踊りや音楽をおみやげに訪問してくれました。音楽に合わせてリズム良く踊ったり、大きな声で歌をうたってくれ、入所者さんたちはひまごを見ているように嬉しそうな笑顔を見せておられました。

人権擁護人形劇



私たちが生活していくうえで、とても大切な人権を守るための啓発が行われている人権擁護団体が来苑され、人権とは何か、を分かりやすく説明してくれる人形劇を披露してくださいました。マスコットの「まもる君」と「あゆみちゃん」はご利用者さんに大人気でした。

秋の運動会



11月3日、西棟Cユニットの恒例行事「秋のちっちゃな運動会」を開催しました。ボーリングや輪投げなど4種目の競技が行われ、「よーいドン！」の掛け声と同時に「ガンバレガンバレ！」と歓声があがり会場は大盛り上がりでした。運動会の後は、皆さんでジンギスカン！ご家族と一緒に食べるジンギスカンは格別の味だったようです。

ボランティア・慰問

- ・更生保護女性会慰問
- ・草花の会
- ・抹茶ボランティア
- ・喫茶ボランティア
- ・西町もみじ会
- ・明光寺婦人部

ありがとうございました



清掃ボランティア

クリスマス会に先立って、恒例の苑内のワックスかけがありました。ご家族・地域のボランティアの皆様が清掃ボランティアに参加くださり、普段なかなか手がまわらないところを清掃していただき、気持ちよく新年を迎えることができます。皆さん、ありがとうございました



スマイルプランのーコマ

芳生苑では、「ご利用者さまの希望を叶えるSmileプラン」を行っています。ご利用者さまお一人お一人にご希望をうかがい、職員が計画を立て、外出や晩酌会、余暇活動等を実施しております。



男の晩酌会



流しそうめん



カラオケ



寿司パーティー



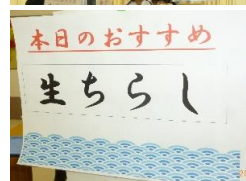
お寿司屋さん



スイーツ女子



ご家族とともに



インフルエンザ・ノロウィルスの流行にご注意を!

インフルエンザ・ノロウィルス（感染性胃腸炎）が流行する季節となりました。

芳生苑でも職員にインフルエンザ予防接種を義務付けており、ご利用者さまは11月13、14日に殆どの方が予防接種を行いました。しかしながら、予防接種だけでは感染を防ぐことはできません。

しっかりと手洗いを行い、バランスの取れた食事、十分な休息、マスクの着用などの感染予防を行っていくことが大切です。

玄関にアルコール消毒・マスクを用意してありますので、来苑された際には手指消毒・マスクの着用にご協力ください。

また、咳・鼻水・発熱・下痢・嘔吐などの症状のある方は、面会を控えていただきますようよろしくお願い致します。

祝 芳生苑開苑記念弁当

12月1日は、芳生苑開苑記念日でした。開苑を祝って当施設の管理栄養士と調理員が工夫を凝らし、レトロな雰囲気をもも出した包装の、見た目にも美しい豪華なお弁当を用意しました。心を込め手づくりしたお弁当は、温かい気持ちまで配達したようで、皆様は全てが美味しいと、とても喜ばれていました。食べるのがもったいない！



『動き出しはご本人から』 今年度第3回目の介護現場実践

10月29日、日本医療大学教授大堀具視先生をお招きし、今年度3回目の介護技術現場実践を行いました。

今年度は取り組みの継続性と緊張感を持って技術向上を目指し研修会に臨んでおります。また、今回も他施設の専門職の皆さんが、自分の地域の介護技術向上のため、ご利用者様の暮らしをより良いものにするため、ともに実践に参加し学びを深めています。

毎月、事例検討会議で日々の実践や前回の研修会の振り返りを行い、今までのご指導を吸収し、繰り返し実践してきました。今回の研修会では、大堀具視先生に成果を見ていただきたい一心で芳生苑職員は気持ちを一つに『ワンチーム』で実践に臨みました。何度、研修会を経験しても地に足がつかないくらいに緊張が走り、気持ちが高ぶります。実践職員は皆、上手く実践ができるだろうか、この不安はどこからくるのだろうか、ご利用者様に職員が意図としている動きをしていただけるだろうかと様々な想いが駆け巡ります。

人に見られることで自信のない介護はやらなくなり、自信のある関わり、介助だけが際立っていくものと大堀先生から教わりました。まさにこの言葉が私たちの胸に響くようになってきた今日この頃で、この言葉の意味の深さを改めて実感しています。実践を一つひとついねいに積み重ね、続けていくことが今回のような形で実を結ぶのです。

ご利用者様が本当の意味で私たちの介助を受け入れて下さったこと、ご利用者様主体の介護が出来たことは、これを実践した介護職員、周囲にいた職員、一度体験した事は忘れないと思います。これからも芳生苑職員は「動き出しはご本人から」の実践で、ご利用者様の暮らしが笑顔でいっぱいになるよう、より良いケアを提供していきます！



職員紹介

西棟介護職員として勤務することとなりました。
よろしくお願いいたします。

眞田智恵介護員
(10月1日採用)



詳しくは、芳生苑ホームページ
介護技術研修会「動き出しはご本人から」をご
覧ください。
(<https://houseien.org/>)